



校報 あずまね

<https://shiwa3.chu.jp>

時同啄啐

校 長 佐藤 智一

県中総体を終えて



特設陸上部 照井さん
共通男子 200m 予選敗退
26"80 自己ベスト記録



特設陸上部 松本さん
共通男子 1500m 予選敗退
4'38"22 自己ベスト記録
あと 1 秒 0.6 及ばず決勝進出を逃す



卓球部 瀧澤さん
個人戦 対 一戸中 村井
0-3 1 回戦敗退

地区中総体より

この夏、3名の生徒が県大会に挑み、それぞれが持てる力を出し切りました。挑戦は自分を変化させます。ドキドキする自分・ワクワクする自分・こわがる自分・感情が込み上げる自分・感動する自分…。普段感じることのない体験を通して、色々な自分を感じることができたのではないかと思います。そしてもうそれぞれの心には、次の挑戦への決意が芽生えているのではないかと思います。故障のため棄権となった山崎さんは、一層強い気持ちで次に向かっていくことでしょうか。がんばれ！三中生。

中学2年生へのメッセージ

「学年朝会で今の2年生に必要なこととお話して欲しい」と学年委員の宮崎さんに頼まれ、次のような話をしました。

中学2年の夏は、部活で3年生が引退してよいよ自分達が中心になっていく時期ですね。まとめ役の上級生がいなくなり、それまで抱えてきた問題が表に出てくる頃です。皆さんもそうではないかと思います。中でも一番の悩み事や困りごとは、「人間関係」でしょう。

それをなんとかして解消したい。でも不安。うまくいかない……。そうやってさらに深く悩む。これほど真剣に悩むのは、中学生が大人になるために成長しようとしているからです。

皆さんの多くは、幼稚園、保育園の頃からの付き合いです。自分本位な子供時代に相手を泣かしたり泣かされたりしたことがいくつもあったのではないのでしょうか。

私自身も小学校3年生までは自分勝手な乱暴者で、同窓会で会う友達からはよく、「いつも痛い目にあわせてらへてひどかった」と言われます。そんなことを続けていたら、ある日に友達が家に来て「お願いだからもういじめないで」と言われたことが、グサリと心に残っています。それで小学校4年生のクラス替えを機に、人の嫌がるような横暴なことはしないように気をつけるようになりました。

嫌なことをされた人は、いつまでもやられたことを忘れ去ることはありません。特に思春期になり、心が育ち「嫌なことは嫌」と言えるようになってきた皆さんは、相手との関係もこれまでとは変化していきます。それに対応することは、まだ未成熟な中学生にとって戸惑いも大きく大変なことです。誰にもうまく言えず、心が疲れてしまうこともあるでしょう。

そんな時こそ、誰かに相談することです。うまく話せなかったり、途中でわからなくなったりするかもしれませんが、それでも構いません。話すことはつらさを軽減したり、気持ちを落ち着けたりすることもできます。人に向かって話しているのに、いつからか自分と向き合っているように感じるかもしれません。それは、自分を冷静に見つめている証拠です。ゆっくり落ち着いて、しっかり向き合って、これまでの出来事や考えを整理しましょう。そして時には、心が落ち着くまで静かな場所でじっと休んでみましょう。本当は自分がどうしたいのかわからないまま行動すれば、事態はもっとおかしなことになってしまいかねません。これからの自分にできること、みんなと一緒にできることをじっくり考えましょう。

ピンチはチャンスです。自分が変わることで、相手との関係も変わり、今までの課題を乗り越えるチャンスになるからです。皆さんもこれからの1年半が中学校生活の本番です。これまでの卒業生もそうやって成長し、卒業してきました。みなさんもどんな人になっていくかの岐路に差し掛かっているのだと思います。自分とみんなのこれからをどうしたいのかを、じっくり考えてみてください。

最後に、今までたくさんの失敗をして来た私が大事にしていることを伝えます。

「赦す」。これができなければ、揉め事はいつまでも続きます。平和はいつまでもやって来ません。誰でも、失敗はします。その後悔をいくつも抱えて、その都度やり直していくのが人です。その痛みを想像し、自分と相手のこれからのために、赦すことで、みんなの大きな成長につながってほしい。それが今の2年生に期待することです。